



マと ニア り



第1章 身近にいる鳥たち

雀	1	花鳥図 十二幅対のうち九月「菊花小禽」	鈴木華邨	大正時代
	2	稲雀図	松村景文	江戸時代
	3	鳴子雀蒔絵棗		江戸時代
	4	志賀焼竹雀絵茶碗		大正時代
	5	赤樂福良雀香合	樂旦入	天保元年(1830)
鳩	6	鳩文モザイク嗅煙草入	ロシア	19世紀
	7	百合鳩図	伝王若水	明時代
	8	群鳩図	鈴木華邨	大正3年(1914)
	9	嵌陶鳩図風炉先屏風	三浦乾也	明治時代
燕	10	月燕図 池田光政賛	池田綱政	江戸時代
	11	柳燕図	岡本秋暉	江戸時代
棕鳥	12	柳棕鳥図	呉春	江戸時代
鶏	13	鶏図	松花堂昭乗	江戸時代
	14	双鶏図	円山応瑞	江戸時代
	15	青花鳥香合		明時代
	16	青花ひよこ香合		明時代
	17	青磁天鶏壺		西晋時代
	18	鶏置物	フランス・ドーム社	20世紀
謎鳥	19	ラスター彩人物文鳥頸水注	イラン・レイ窯	12～13世紀
	20	重要美術品 脚付短頸壺 鳥形鈕蓋付		古墳時代
鴨	21	雪中芦双鴨図	円山応挙	江戸時代
	22	交趾黄鴨・萌黄鴨香合		明時代
	23	色絵鴨蓋物	フランス	18世紀
	24	群鴨図	鈴木華邨	明治42年(1909)

四十雀	25	竹四十雀図	英一蝶	江戸時代
	26	梅に小禽画賛	佐野長寛	江戸時代
鶯	27	梅鶯図	久保田米僊	明治時代
	28	伊丹切 寛平御時后宮歌合	伝藤原俊忠	平安時代
	29	俳句短冊「うくひすの」	与謝蕪村	江戸時代
	30	竹彫梅鶯茶器		江戸時代
	31	色交趾額梅香合	永楽保全	江戸時代
	32	梅鶯竹蒔絵三重手提箆笥		江戸時代
目白	33	桜花小禽図 対幅のうち	小田海僊	江戸時代
	34	柿目白図	鈴木華邨	明治30年代
雉子	35	春景双雉図	川端玉章	明治時代
	36	白高麗雉子香炉	3代真葛香山	昭和時代
鵲	37	和泉式部集切	伝藤原行成	平安時代
	38	梶鵲図	松村景文	江戸時代
鳶	39	暁雲鳶鴉図	与謝蕪村	江戸時代
	40	鳶図	木島櫻谷	大正～昭和時代
鴉	41	寒林落日図	呉春	江戸時代
	42	柳上烏図	菅其翠	江戸時代

第二章 自然の中の鳥たち

鶴	43	青花雲鶴文釜形共蓋水指(古染付)		明時代
	44	松樹双鶴図	中島来章	江戸時代
	45	松喰鶴蒔絵棗	六角紫水	昭和時代
	46	鶴羽箆		年代不詳
	47	鶴亀蒔絵小硯箱	永田友治	江戸時代
	48	花鳥図 十二幅対のうち 一月「朝陽渡鶴」	鈴木華邨	大正時代
杜鵑	49	姫路切(源氏狭衣歌合切)	伝藤原為家	鎌倉時代
	50	暮靄杜鵑図	須磨対水	大正時代
鶉	51	栗鶉蒔絵硯箱		江戸時代
	52	秋草鶉図	奥文鳴	江戸時代
鴛鴦	53	蓮池鴛鴦図	伝趙昌	北宋時代
	54	寒菊鴛鴦図	川端玉章	明治時代
鷺	55	一路平安図	赤松雲嶺	昭和10年(1935)
	56	御本白鷺鉢	4代清水六兵衛 鈴木華邨下絵	明治30年代前半

翡翠	57	芙蓉翡翠図	岡本秋暉	江戸時代
	58	枯蓮翡翠図扇子	鈴木華邨	明治40年代～大正時代
野雁	59	野雁羽簪		年代不詳
	60	野雁羽簪	飛来一閑	昭和時代
鳴	61	唐銅鳴香炉		年代不詳
雁	62	月雁図	円山応挙	天明4年(1784)
	63	絵唐津内雁絵茶碗 銘「有明の月」		江戸時代
	64	白雁香合	初代宮川香山	明治～大正時代

第三章 観賞される鳥たち

錦鶏	65	花鳥図	奥文鳴	江戸時代
	66	唐物存星錦鶏図大丸盆		年代不詳
孔雀	67	牡丹孔雀図	長沢芦雪	江戸時代
	68	牡丹孔雀図	岡本秋暉	嘉永7年(1854)
	69	木蓮孔雀図	山田秋坪	大正9年(1920)
	70	インド更紗茶具敷		20世紀
鳳凰	71	葵女仙図	呉春・東東洋	江戸時代
	72	玳皮蓋梅花鳳凰文天目茶碗		南宋時代
	73	白地鉄絵鳳凰文扁壺 鉄絵銘「利市」		元時代
	74	赤地金欄手鳳凰文酒次・添盃	永楽保全・永楽和全	江戸時代
	75	桐木地甲鳳凰文棗 愈好斎好	三砂良哉	昭和3年(1928)



【鳥のことをもっと知りたい！という方におすすめの本】

鳶田ハジメ著 『まいにち鳥びより』

piro piro piccolo著 『意外と知らない鳥の生活』

『まだまだ！意外と知らない鳥の生活』

鈴木俊貴著 『僕には鳥の言葉がわかる』



「とりマニア」展 特別 “鳥” 合わせ

床	四季図のうち「朝暾」	鈴木華邨筆
釜	光悦好竹垣文	名越浄味作
香合	琅玕鳥	
花入	竹二重切 歌銘「帰雁」	小堀遠州作
水指	白地陽刻水禽文	ドイツ ローゼンタール窯
茶器	黒千鳥蒔絵棗 銘「須磨」	三砂良哉作
茶碗	黒樂 仙叟銘「千鳥」	樂長次郎作
替	古曾部立鶴	
茶杓	共筒 銘「鶴首」	三宅亡羊作
蓋置	染付夜学	
菓子器	黒鶴菱盆	三砂良哉作

次回予告

2026年4月18日（土）～6月14日（日）

「和モダン大阪ー日本画コレクション」

本展では、小林一三が蒐集した日本画コレクションから作品を選び、明治から大正時代の大阪の人たちが絵画を愛でた三つのシーンを再現してみます。その第一として、お座敷の床飾りに好まれた季節の風情を描く作品には、ご来客をおもてなしする優しい思いが知られます。そして第二に、詩歌などの文芸とともに楽しまれた文人画や俳画の作品には、文化を担った大阪人の心意気が覗われます。また第三には、茶会・宴会など人々が交遊する場を賑やかに盛り立てた作品からは、歓声や喝采が聞こえてくるようです。

こうした三つのシーンを通じて、近代大阪の人々が愛でた和モダンの世界を会場に現してみたいと思います。



上田耕沖「桃花牧童図」